

予算/計画管理プロセス最大の課題 - 収益資産の予測を自動化

「IBMのCognos、OracleのHyperion、Inforのd/EPMなど、各社製品のデモを見た中で、我々のニーズをピンポイントかつ的確に満たしていたのがTagetikでした。Banco Toyota do Brasilは、ブラジルでのTagetikユーザー第1号であり、製品に大変満足しています。」

Banco Toyota do Brasil ファイナンシャルプランニングコーディネーター
Rafael Yoshihara氏

企業名

Banco Toyota do Brasil

業種

金融サービス

企業経営管理 (CPM)

- ・ポートフォリオ予測 (予算編成、計画管理、見込/着地予想)
- ・債務 (資金調達) の予測とキャッシュ
- ・コラボレーションによるデータ収集

企業情報

- ・トヨタファイナンシャルサービス株式会社の子会社
- ・1999年にブラジルで創業
- ・顧客数7万
- ・ディーラー数150超

要件

- ・3大商品であるフロアプランプログラム、CDC (小売向けファイナンス) /リース、保険のビジネスプランとファイナンス予測を計算
- ・ポートフォリオ資産、受取利息、サービス売上 (保険) に関する見込/着地予想を計算
- ・50種類を超える製品をカテゴリ (車種) 別に、60ヶ月の残高と受取利息を計算
- ・資産/負債とそれが受取利息/支出に及ぼす影響を自動算出
- ・販売費/一般管理費をコストセンターごとに計算

課題

Banco Toyota do Brasilは、トヨタファイナンシャルサービス株式会社とトヨタ自動車株式会社の子会社として、1999年に設立されました。1958年に設立されたToyota do Brasilは、3つの製造工場 で車両を製造しています。

Banco Toyota do Brasilは、3つの製品カテゴリで事業を展開しています。第1の「フロアプランプログラム」では、トヨタ車を購入するブラジルのディーラーをサポートします。第2の「CDC/リース」では、ディーラーから車を購入するお客様をサポートします。第3の「保険」では、お客様に保険を提供します。

Banco Toyota do Brasilは、商品 (車種) レベルでの詳細な予算/計画管理ができないという問題に直面していました。また、予算/計画管理プロセス全体で、優れた予測精度と可視性を保証することもできませんでした。販売予測などのプロセス管理では、戦略ミーティングで事業予測の数値設定を行い、さらにファイナンス指標を予測し、以上をベースにポートフォリオ資産、受取利息、サービス売上 (保険) を予測していましたが、これをすべてスプレッドシートで行っていたので非常に効率が悪かったです。それは「Excelの悪夢」と呼ぶべきものでした。必要な計算を行うためには40を超えるスプレッドシートを管理しなければならず、数値をすべて手作業で更新したからです。

目的

Banco Toyota do Brasilが取り組んだプロジェクトの課題と目標の1つが、毎月調達すべき合計金額の計算です。これには、収益性を大きく左右する繰上返済/滞納の予測比率に基づいて、預金残高と受取利息を最適化する目的があります。

また、ファイナンスプロセスの抜本的改革の一環として、負債予測 (資金調達の超過と不足) と現金収入、コラボレーションに基づくデータ収集 (コストセンターごとの販売費/一般管理費、従業員ごとの給与支出、ITプロジェクトのOPEX、CAPEX、減価償却費) も取り組みの対象になりました。特に、給与計算は非常に複雑だったので、最適化が必要でした。

成果とメリット

Tagetikの導入後、Banco Toyota do Brasilでは50を超える製品 (車種) について、残高と受取利息の60ヶ月計画を製品レベルで行っています。この計画に基づき、繰上返済と延滞の比率の予測モデルを作成しています。さらに、ポートフォリオ予測の計算が自動化され、わずか5分で完了しています。ローリングフォーキャストについては、親会社への報告は3か月ごとに行いますが、社内で分析と可視化に役立てるために月次ベースで作成しています。

- 従業員の給与支出
- 各ITプロジェクトの減価償却費に関するデータ入力と計算(年間15件)

メリットと成果

- 40を超える複雑なスプレッドシートを使い手作業で管理/更新していた非常に困難な状況から脱却
- 月次ローリングフォーキャストを作成
- 製品レベルの詳細なポートフォリオ予測をわずか5分で完了
- 製品レベルのファイナンスシミュレーションを高速実行
- 予算編成、計画管理と見込/着地予想業務にかかる時間を30%短縮
- 収益資産の予測精度が向上
- 予算と実績の差異を5%以下に縮小(以前は10%)

債権(資金調達)計画とキャッシュ予測については、グローバルレベルでの予測値(事業に必要な現金の最低額)を入力するだけで、後の処理は自動化されています。資産が負債を超過する場合には、必要な借入額がTagetikによって自動計算され、P/Lの支払利子も自動計算されます。負債が資産を超過する場合には、これが現金に与える影響と受取利子の増分が計算されます。

販売費/一般管理費の計画も簡素化されています。コストセンターの責任者が「ドライバーベース」のデータ入力フォームで経費項目をいくつか入力し、さらに給与レベルでグローバル予測(加重、ボーナス基準、健康保険の経費、福利厚生など)を入力します。これをもとに、人材関連の経費が自動計算されます。

さらに、ITプロジェクトの予算/計画管理(経費、設備投資、減価償却など)もすべてTagetikで行っています。Banco Toyota do BrasilのCIOがプロジェクトごとに経費と投資額を入力すると、プロジェクト(ソフトウェアベンダのメンテナンスなど)ごとに減価償却費が自動計算されると、ITプロジェクト単位での詳細な予算編成が可能になっています。

Banco Toyota do Brasilについて

Banco Toyota do Brasilは、トヨタ自動車が全額出資する子会社であるトヨタファイナンシャルサービス株式会社の系列会社です。トヨタ自動車は1937年に創業し、現在では世界トップクラスの規模を誇る自動車メーカーとして30を超える国で事業を展開しています。トヨタファイナンシャルサービス株式会社は、トヨタブランドのグローバルな成長に貢献しています。

1998年にサンパウロ州郊外にあるインダイアツバに工場が設立され、ブラジル国内向けにカロラの生産が開始されたことを契機に、ブラジルでトヨタブランドが急成長を始めます。1999年、トヨタ車のブラジルでの販売サポート/拡大を目的にBanco Toyota do Brasilが設立され、個人や法人を対象にしたCDCの提供を開始しました。2000年には、卸売業者向けのファイナンス(トヨタ販売店ネットワークのニーズ対応)、小売業者向けのリース(個人と法人を対象)、Seguro Toyota(ユーザの安全と安心を保証するトヨタの保険)の提供を開始しています。

「予算と実績の差異を0~5%に抑えることができ、予算編成と見通しのプロセスにかかる時間を30%短縮しています。Banco Toyota do Brasilの誰もが、Tagetikの計算エンジンの優れたパフォーマンスに驚いています。」

Banco Toyota do Brasil ファイナンシャル
ランニングコーディネーター
Rafael Yoshihara氏

Tagetik について

Tagetikは経理/経営企画部門が直面している複雑な課題を理解しており、これまで蓄積してきたナレッジを、業績の向上を推進する操作性に優れたエンタープライズスケールの企業経営パフォーマンス管理ソフトウェアソリューションとして結実させました。Tagetikにより、シンプルなクラウドを活用したファイナンス計画と運用計画の連携、連結会計および期末決算処理に要する時間の短縮、迅速な結果分析、事業シナリオが及ぼす全ての財務諸表へのインパクトのモデリングと比較、戦略計画の調整、ローリングフォーキャストのシームレスなアップデート、フォーマット化された監査可能なファイナンスおよび管理レポートの作成、ビジネスレビューのコラボレーション、開示およびマネージメントレポートの自動化などを実現することができます。また、ファイナンスインテリジェンスを備えており、CFO、財務責任者、オペレーション責任者は、一部または全てのプロセスを集約することが可能になります。Tagetikは現在53カ国にわたり850社以上の顧客に利用されており、効率化、リスク低減、コスト削減、節約、そして業績の向上を支援しています。詳細は www.tagetik.com をご覧下さい。「We get Finance. You get results(財務のことならTagetikにお任せ下さい。結果はお客様が享受します。)」